

第9号

発行日 平成31年1月31日

発行元 三次市建設部都市建築課



尾関山ファンクラブ通信

会員数 108名
(H31.1.24現在)

満開の桜を心待ちに

—第5回尾関山ファンクラブ作業実施—

寒冷の候、ファンクラブ会員の皆さまにお変わりはありませんでしょうか。

記念すべき5回目となる尾関山ファンクラブの作業を1月24日（木）に行いました。全国各地でインフルエンザが猛威を奮ったりと、体調管理が難しい時期ではありますが、新たにメンバーになられた株式会社タマルコンサルタントの方1名、株式会社協和電工の方4名も参加され、合計21名の方にお集まりいただきました。当日は青空が見える好天の下、とても清々しい気持ちで作業をすることができました。

『一本一本の桜がきれいに咲き、桜で輝く三次のまちを目指しましょう』と、樹木医の正本先生の掛け声で作業を開始しました。今回の作業では、エアレーションと樹木の剪定を主に行いました。

ファンクラブ会員の方は、既にご存知の方も多いと思いますが、エアレーションは地中約60センチの深さまで穴を空け、空気を約10ℓ程度充填させ風船が割れるように、地中内で小さな破裂を発生させるものです。それにより地中でひび割れが発生し、樹木の根を伸びやすくさせることができます。また、空けた穴に施肥を行うなど、エアレーションは樹木を育てる上で大切な作業の一つです。その他、枯れ木や病気になっている木を剪定・伐採し、尾関山を代表する特徴的な木でもある、エドヒガンやシダレザクラを守るための作業を行いました。

また、季節は冬で茂みが少なく、見渡しが良いことから、新たな気づきもありました。尾関山のエドヒガンは、ソメイヨシノを植樹するずっと前から、意図的に植樹していた名残があること。また、広場下のカズラに覆われたツツジの後ろには、立派なシダレザクラが隠れていたことでした。それらの気づきから、尾関山は歴史とまだ見ぬ魅力を秘めた、素敵な山であると実感することができました。過去から現在、未来までたくさんの方の色々な思いをのせた、三次を象徴する山を守っていくため、これからも活動を引き続きがんばっていきましょう。





桜Photo

H31.1.24 (木)



エアレーション作業



施肥作業

つつじの後ろに
シダレザクラをみいつけた！



みなさまお待ちかね！
正本先生のお話し！！

ソメイヨシノを植樹するずっと前から
エドヒガンを植樹していたようだ…！



伐採作業